

の対象者になるということです。その「災害見舞金」「災害義援金」の内訳は次のとおりです。

(1) 住家の半壊又は半焼——世帯につき三万円が災害見舞金として給付

(2) 住家の半壊または半焼——世帯につき一次配分十二万円二次配分三十万円、合計四十一万円が災害義援金としてそれぞれ給付

これは一般の方々だけではなく、オリーブの家のファミリーの皆さんもその対象者となるのです。この度の熊本地震を経験した刑余者は熊本市でも多くいますが、オリーブの家に必然（偶然）に入室したファミリーにだけこの特権が与えられるのです。これこそ大いなる神様の恵みと言ってよいでしょう！因みに「コーポ池田のオーナー」「事業主でありますオリーブの家」はその対象者から外れます。しかし私たちは喜んでいきます。今まで手にした事がないようなお金を、ファミリーお一人お一人

人が手にする事ができ、そのお金を自立資金として使えるのです。ファミリーの中からこんな声も上がっています。「このお金は私達が手にす



集会所兼食堂として生まれ変わります！



色とりどりの美しい花々に癒やされています。カラーでお見せできなくて残念！

るお金ではありません。改築費用の手助けが出来ればと思います」神様は何と素晴らしい事をなさるのでしょうか！この事実を証します。ハレルヤ！

オリーブの家に咲く夏の花たち

暑い毎日ですが、オリーブの家にもプランターや鉢に植わりながら元気な花たちがいます。春先の場所では日差しが強すぎて弱っていきましたので、暑さをしのげる様にと、今は半日陰の場所において枯れないようにして、朝夕の水やりをしてもらっています。サンパチェンス（白）・日野草（ピンク）・ゼラニウム（ピンクや赤）や葉鶏頭の葉の繁みーなど、皆さんがそばを通る時、ほっとひと時の安らぎを与えてくれています。

オリーブの家 活動レポート

* 7 / 13 コーポ池田の101・102号室の土台復旧工事再開と大工工事がスタート。8月の下旬に二

部屋続きの集会所兼食堂が完成予定。

* 7 / 14 豪雨による崖の崩壊の危険性が高まり、ファミリーとファミリーの会7人で大韓基

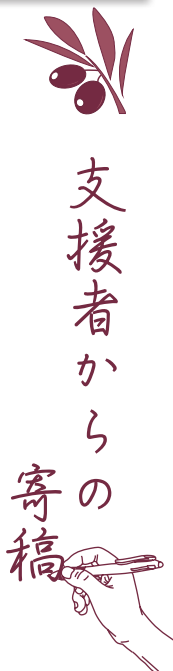
督教会へ避難

* 7 / 19 Hさん・Sさん退室
* 7 / 21 ~ 23

聖書フォーラム・キャンプ（御殿場）へ理事長夫妻参加。熊本地震の支援感謝と報告。

日 曜 礼 拝

7 / 3	7 / 10	7 / 17	7 / 24	7 / 31
11人	11人	11人	—	9人
「成長セミナー」2課前半 自己紹介	「成長セミナー」2課後半	大韓基督教会礼拝出席	臨時の休み	オリーブの家の理念の確認・勧め



支援者からの

寄稿

「愛すべきオリーブの家の皆様に」

山鹿地区更正保護女性会

島田裕子

私達「更生保護女性会」略して「更女」は更生保護事業に進んで協力し、犯罪や非行のない明るい社会を実現しようとするボランティア団体です。刑務所や少年院の収容者を励ましたり、更生保護施設入寮者の社会復帰を支援する活動、また子育て中の親を支援地域ぐるみで子供達を見守り育てる活動、更生保護の心を地域に広める活動をするグループ！と、この様な活動を日々目指してゆこうと努力しています。活動資金は自分達で作ります。県下に四十地区約2500名の会員で、それぞれの地区のあり方は色々ですが、「母の心」を基本心得として精進中です。

私が入会してもう十年目になります。何がどう社会に、更生保護の心に貢献できているのか、悩みながら活動してきました。「更女は素敵な活動をしている団体ですね」と言ってもらえるよう日々活動はしているのですが、実際に帰って来られた方と接する事もなく、子供達の健全育成にもさわりだけの関

わりで、学校訪問や声かけ運動には参加しています。が、なかなか貢献とは遠いものを感じています。自営会にも年に一度の金品の提供、二、三年に一度の訪問では「更女」としてどう役に立っているの？と思いつけていました。

県の常任理事会で「オリーブの家」が新しく更生保護施設として立ち上げられた事、青木理事長のプロフィールを聞き、感じるものがありました。私達にも何かできることはないかと校区理事（私達は8小学校区より2名）に話して、お米と古着を取りに来て頂きました。その時初めて理事長と奥様に逢ったのですが、お二人から出て来るオーラが何とも言えず暖かくふんわりと優しいものを感じました。その時は私と1名の理事しか逢っておりませんでしたので、その事を理事会で報告しました。その時、理事研修をオリーブの家にしてもらいたいと要望があり、お願いしたところ快く引き受けて下さいました。

日曜礼拝の話、今はオリーブの家で手伝っておられる方の体験、作っておられる小さな畑、美しくなった道路、可愛く整えてある部屋、迎え入れる準備はすっかりできていました。理事の皆も私と同じく、お二人のお人柄にやはり心打たれていました。その後、城北ブロックの会長研修もさせて頂き、同じく感動して帰ってもらいました。

その後、熊本大地震。オリーブの家も各部屋に置かれていた食器棚は全て空に！通路とドアの間は

ひびが入り、一步踏み込んだとたん沈みそうで鳥肌が立ちました。被災の状況は目を覆うばかり、差しの差し入れ位しか出来ませず心苦しい限りです。これから後のオリーブの家の皆様のふんばりには理事長ご夫妻の祈りと神様の力が働いていると思っております。

児童養護施設も最近は親がいても育ててもらえない子供達が七十%を超えているそうです。子供達が親や回りの大人達から沢山の愛をもらい、まっすぐ育って欲しい。思いやり溢れた社会を「理想よ！」と笑いとばさず、皆で本気で、明るい犯罪のない社会を目標にしたい。最近の無節操な事件を見るにつけ、お金や物より大切なことが沢山あることを私達ももう一度反省して、やり直さねばと思います。

青木理事長の理想である自立支援施設。広大な土地に期限を区切らず働いてゆける施設が一日も早くできます様に。そして犯罪のない社会、子供達が思いやりを持てる社会を作り上げることが目指します。



■プロフィール 島田裕子

山鹿地区更生保護女性会会長
山鹿市更生保護連絡協議会会長
山鹿市心配事相談員

ファミリーの声

「もう戻りたくない」

8月のお盆過ぎに退室予定のK・Tさん。普段は口数が少ない人ですが、職員のーさんの問いかけに心の内をさらけ出してくれました。「もう刑務所には戻りたくない」彼の心の叫びです。

Q. オリーブの家での生活はどうでしたか？

A. とても助かりました。もつと早いうちに自立準備ホームに出会えたかったです。以前は出所しても、すぐにお金が底をつき、罪を犯し、刑務所に戻ってしまう生活を繰り返していました。またホームレスの厳しさも味わっていました。生きるために最低限必要な衣食住を提供していただき、様々なサポートを受けることで、落ち着いて今後のことを考えることができました。

Q. オリーブの家での食事は？

A. 満足です。若い頃、仕事から帰っては酒浸りの毎日で、まともな食事はとらなかつたので、栄養失調になり3週間ほど入院をしたことがあります。そういったことが絶対にならないように、今は三度の食事をキッチンととり、特に野菜を必ず食べることを心掛けています。

Q. Tさんは日曜礼拝への出席率は100%です。礼拝についてはどう感じましたか？

A. こういった礼拝に参加したのは初めてで、聖書にも触れることが出来て、貴重な経験になりました。ありがとうございます。

Q. 今回、熊本地震で被災しましたが、Tさんには作業等で大いに活躍してもらいました。あの地震を経験されて何を思われましたか？

A. 教会で1カ月程、避難生活を送りましたが、皆との共同生活は楽しかったです。今回、被災者となったこともいろんな意味で良い経験でした。病気を癒してなければ今でもバリバリと働くことも出来ます。

Q. オリーブの家での嬉しかったこと、辛かったことがあれば教えてください

A. 嬉しいというか、心が和んだことは、ファミリーのひとりひとりとの誕生日を皆で祝ったことです。生まれて始めての経験に最初はとても驚きました。辛かったことは特にありません。オリーブの家に縁があったことに本当に感謝しています。

Q. 今後自立されるわけですが、これからの人生についてはどんな思いがありますか？

A. 紹介されたグループホームで生活します。私は病気持ちですが、オリーブの家での半年間で、治療にも専念することが出来ました。もう刑務所には戻りたくないです。これからは不満や腹が立つことがあっても、相手との関係を良くすることに努めていきたいです。刑務所の中よりも実社会での人間関係はとても厳しいです。聖書に学び、まずはオリーブの家での他のファミリーとの関係を良好に保つことが、今後の人生を勝ち取るための基盤になると思います。たったひとりでは自立は出来ません。人の意見を素直に聞き、周囲からの支援を感謝して受け取り、本当の意味で自分の内側を変えていきます。

皆様のあたたかいご支援に感謝いたします。

銀行振込

肥後銀行（銀行コード：0182）
京町支店（支店コード：156）
口座番号：（普通）1574408
口座名義：NPO 法人 オリーブの家
トクヒ）オリーブノイエ

郵便振替

銀行名：ゆうちょ銀行（金融機関コード：990）
口座番号：17180-5444801
口座名称（漢字）：NPO 法人オリーブの家
口座名称（カナ）：トクヒ）オリーブノイエ
（他銀行からお振込の場合は）
店名：七一八（読み：ナナイチハチ）
店番：718
口座番号：（普通）0544480

2016 年会計報告（7月）

先月より繰越				1,650,739	
収入	公的援助	848,340	支出	家賃	244,000
	献金	665,310		水光熱費	70,864
	その他	13,870		食費	233,634
	収入合計	1,527,520		人件費	535,041
				その他	275,904
				施設準備積立金	100,000
収支合計				68,077	
翌月繰越し現金預金				1,718,816	



月刊オリーブ

2016年9月1日発行
（毎月1回発行）第16号

編集・発行 NPO 法人「オリーブの家」
〒860-0082 熊本県熊本市西区池田2丁目9番1号 コーポ池田201
TEL 096-342-4123 / FAX 096-342-4248 / E-mail 0110harvest@gmail.com
<http://seishoforum.net/olive-house/about/>

